

地域福祉計画の基本理念について

地域福祉計画の基本理念を定めるにあたり、下記をもとに考え方をまとめました。

ポイント

- ・ 時代や社会の変化を認識したうえで検討する
- ・ 世の中の進み方、これからの地域社会を見据えた認識を持って検討する
- ・ 「理念の標語」にいたるまでの考え方が重要となる
- ・ これらを受けた具体的な施策については個別の計画で検討していく

そのために下記の内容を踏まえた検討を行っていきます。

- ・ 東村山市総合計画（今後10年の市の基本となる計画） 資料4
- ・ 市民意向調査（社会変化、住民意識等の把握） 資料4
- ・ 第3次地域福祉計画及び個別計画の取り組み状況と課題 資料1
- ・ 保健福祉協議会、個別計画推進部会、策定委員会での意見

<考え方>

高齢化が加速し、後期高齢者の割合が増加することにより、これまでの福祉施策で支え続けることができるのか。そういった中、理想論ではなく現実的な方法で**支え合いの地域社会**を形成していく必要がでてくる。

近年の無縁社会という言葉にあるように、地域のつながりが薄れてきている現状がある。また、住民自体に「社会貢献をする」という発想が育っていないという状況もある。

東村山市民全体として、これまでの生活の在り方を見直し、お互いに連帯して支え合っていく意識づくりが必要となってくる。

また、雇用の悪化に伴い共働きの増加や保育所の待機児の増加などが問題となる中、公共事業だけではなく、**協働を進める**ことでの解決方法を探っていくことも必要となる。「自分だけがよい」ということではなく、それぞれの問題をお互いが自身の問題として理解し合い、**行政だけではなく、住民、当事者が参加し、担い手になる**という地域福祉の推進を進めていく必要がある。

地域福祉とは「児童、高齢、障害」といった限られた人だけを対象とするわけではなく、地域に暮らす**すべての人が支え合い**、いきがいをもって生活していくためのもの。自身だけではなく、様々な個性、あり方をしている人同士が、**お互いを認め合い**、お互いの立場を尊重し、受け入れていくことが、地域における参画の推進や、人権の尊重につながっていく。

住民の健康意識については、小さいころからの食育、特定健診や介護予防事業の推進等により増進が図られている。一方、高齢化の加速や、若い世代の自殺等の問題も生じている。健康増進は地域コミュニティの推進や、医療費、介護保険料の適正化の面からも重要であり、社会の多様化、高齢化が進む中、今後ますます重要となってくる。

以上の考え方から、キーワードとして下記の内容を抜き出し理念案としました。

- ・ 認め合う
- ・ 支え合う、参加し協働する
- ・ 健やかに

第4次地域福祉計画 基本理念（案）

ともに認めあい、支えあう

いきいきと暮らすことができるまち 東村山

- ・ 認めあい・・・コミュニケーションにより、お互いに理解をシェア。それにより一人一人を尊重していくことができる。
- ・ 支えあう・・・お互いに支え合いながら、協働していくことができる。
- ・ いきいきと・・・健やかに、よろこび（人と人との交流や環境との共生）をもった暮らしをおくることができる。